

発行責任者 北川崇誠

編集者 高榮耕平

連合奈良南和地域協議会 〒634-0061 橿原市大久保町 457-1 大松ビル 504 TEL0744-47-3905 FAX0744-47-2305



4月29日多くの各産別労働者が奈良市平城宮跡・朱雀門前広場に集まり労働者の祭典『第97回メーデー奈良地方大会』が、約3,000人が参加して開催されました。式典オープニングは橿原高校吹奏楽部の25名が演奏する軽快な音楽で始まりました。

冒頭挨拶で水野連合奈良会長は、「激動する世界情勢の中、さまざまな要因で物価が高騰し、私たちの暮らしは、大変厳しくなっており、大国の自国第一主義により平和が脅かされ、国内外で分断や格差も一段と進んでいる。こうした時代だからこそみんなで支え合う安心社会をつくることをめざす我々は連帯して声を上げなければならない「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、団結しようと呼びかけました。



その後、『対話と連帯で築く、平和で笑顔のあふれる未来、真の働き方改革で、安心して暮らせる社会を！』のメーデー宣言を採択しました。

また、メーデーカンパは障がい者雇用促進センターに、また『一人一品』持寄りのフードドライブでは263名のメーデー参加者が協力し日用品26.4kg、食料品148kgをフードバンク奈良に贈呈されました。二部の午後からのイベントでは、和風曲芸師トリマリの大道芸、大声コンテスト、奈良市役所チーム八重桜のバサラ演舞が披露され、バルーンアートやクイズラリーなどが行われ参加者で盛り上がりしました。

5月の「連合奈良の日」街宣 中小企業の賃上げが、 社会全体の賃上げの カギ！

5月8日(金)連合奈良の日の街宣を JR/近鉄桜井駅前で、推薦議員4名地協役員17名で行いました。

2026 春季生活闘争は、4月17日に最新の回答集計が公表されました。平均賃上げ率は全体で5.08%、中小組合では4.84%と、いずれも昨年に引き続き高い水準を維持しています。5月に入り、多くの中小組合の交渉が本格化する中、この流れを着実に前進させ、組合のない職場で働く、すべての皆さんにも波及させていきたいと考えています。

一方、長引く食品価格の高騰や、中東情勢の影響によるエネルギー価格の上昇など、物価高はいまも家計を直撃しています。4月は値上げラッシュでした。値上げされた食品は、約2,800品目にのぼると言われています。

実質賃金はプラスの傾向が続いていますが、みなさんは「生活が良くなった」と実感できているでしょうか。2026春闘は、実質賃金を持続的に引き上げていくための正念場です。誰もが生活向上を実感できる賃上げを実現し、社会全体へ波及させていくことが極めて重要です。一生懸命働きながらも、仕事も暮らしも生活も厳しい状況に置かれている多くの勤労者が、働き甲斐を感じ、豊かに暮らせる社会の実現に向け、すべての職場で春闘の取り組みを展開しましょうと街宣で訴えました。

